

羽ばたこう 立志の丘から



平成29年7月20日

No.15

平成29年度第1回学校評議員会

7月10日(月)は、平成29年度第1回学校評議員会を行いました。学校評議員制度の趣旨は、学校・家庭・地域が連携協力しながら一体となって子どもの健やかな成長を担っていくため、地域に開かれた学校づくりを一層推進する観点から置かれているものです。学校評議員は、学校外から多様な意見を幅広く求める観点から、当該学校の職員以外の者で教育に関する理解及び識見を有するものうちから、校長の推薦により、設置者が委嘱することとなっております。校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べるができる方々です。

本校では、この趣旨等に基づき、小松評議員(県立西仙北高校長)、小山田評議員(西仙北中央公民館長)、真田評議員(地域の



有識者)、田村評議員(地域の有識者)の4名の方々に学校評議員をお願いしております。10日は、学校評議員の方々から、全校の授業を参観していただくとともに、校長等による学校経営説明を行い、ご意見等を賜りました。

評議員の方々からは、暑い中だったが、どの学級も生徒は授業に集中していたこと、地域と共に歩む学校の姿勢は大切であること、また、HUBスペースの取組やクリーンアップ、ボランティア活動等はこれからの社会の在り方、また生徒自身の将来の職業選択等にも密接に関係ある教育活動であり、地域活性化、秋田県の少子高齢化の改善にもつながっていく活動ではないかということ、などをお話いただき、本校の進むべき方向を示していただきました。ありがとうございました。

話題としては、熊の目撃情報に関する安全対策や不審者対応、いじめ問題等への生徒会の自治的取組、中学生の健全な思考についても、ご示唆いただきました。また、クラスTシャツによる学級や学校の一体感、生徒の所属意識の醸成が望ましい生活意欲にもつながっていることをご指摘



いただきました。保護者や地域の方々、教師の目、色々な方々の目で子どもたちを見守ることが必要であるというご助言もいただきました。学校を休みがちな生徒への対応の在り方や、スクールバスも含めた交通安全対策についても、ご指導を賜りました。さらには、今後の動向として、大学入試改革の方向性などについても、貴重な情報を提供していただきました。

ご助言やご提言を生かし、学校経営・運営に努めてまいります。学校評議員の皆様、ありがとうございました。地域の方々もお気づきの点等をご教示くださるようお願いいたします。

PTAからのご意見

本校では、PTAの授業参観や学年部会を行った後は、PTA会長や副会長、各学年部長による役員会を開催して、生徒の様子や教育活動等について、意見交換等を行っております。

今回は、1年生が学校生活に慣れる上で、通学時の持ち物が多く、たいへん苦勞しているというお話を受けた後の持ち物の指定を1年部で検討して伝えたこと、給食の実質時間が短く、時間内に十分食事ができない生徒がいるのではないかとということ、また、校門前の道路を保護者は送迎の際に一方通行の協力ももらっているが、スクールバスも全て対応してほしいこと、熊の目撃情報から土川方面では保護者が通学の送迎をしているが、いつまで対応すべきかということ、などのご意見を受けました。



その上で、1年生の持ち物の指定はたいへんよかったです、何よりも生徒や保護者の声を真摯に受けとめてくれたことがよかったということでした。スクールバスの一方通行については、教育委員会を通してバス会社に要望し、全てのスクールバスが一方通行対応となりました。熊の被害防止については、夏休み中は平日の昼間の通学もあるため、土川方面については、希望者はスクールバスを利用できるように対応します。また、7月21日には、大仙警察署や猟友会の方にお出でいただき、熊被害防止の講話会を全校生



徒を対象に開いていただきます。なお、給食の実質時間については直ぐに延長して対応しています。

生徒の安全確保等についてはもちろんのこと、些細な日常生活についても、生徒のよりよい学校生活構築のため、お気づきの点を今後ともお寄せくださるようお願いいたします。

全県総体

水泳、卓球、陸上競技、バドミントン大会

7月15日から18日にかけて、秋田県中学校総合体育大会が行われ、本校からは、水泳に3年工藤君が出場しました。卓球個人戦には3年星宮君と同じく荒川君が出場しましたが、残念ながら上位進出はなりません。また、バドミントン大会には、男女団体、男女個人シングルス・ダブルスにそれぞれ出場しました。その結果、バドミントン女子個人戦ダブルスの佐藤・武藤ペアが第3位になり、東北大会出場を決めました。おめでとうございます。男子ダブルス齊藤・田村ペアがベスト8、女子シングルス太田さんはベスト16でした。



陸上競技大会には、女子リレー競技と走り幅跳び、1,500Mに1・2・3年女子合わせて13名、走り幅跳びと走り高跳びに3年男子佐々木君と星宮君2名が出場しました。女子100Mの2年田村さんと3年高橋さん、また、共通女子400Mリレーは予選を突破しました。同陸上競技場で22日23日には通信陸上競技大会が行われます。参加選手の記録がさらに伸びることを期待します。選手、指導者の先生方、お疲れ様でした。またご家族をはじめ、たくさんの皆様の応援ありがとうございました。



生徒会企画「イジメNOプロジェクト」

いじめ問題は、全国的になかなかなくなりません。常に我が身を振り返り、友達のことを察することが大事なことと思います。

本校生徒会執行部が、「イジメNO Project」を企画・実践しています。

「私たちは、イジメをしません。」

「私たちは、イジメを見過ごしません。」

「私たちは、お互いの「心」を守ります。」

今年度の生徒会テーマである「Home～広げよう可能性を 繋げよう未来へ」の下、みんなの学校、地域の学校にイジメがないように、みんなで思いを一つにしてイジメゼロを目指す活動です。

生徒会では、この思いを一つにする手段として、

イジメゼロの取組を缶バッジに表して生徒全員で身に付けようと考えました。

デザインは全校生徒に依頼し、3年生の高橋さんの作品が採用されました。「このデザインは、みんなが一人一人の心（ハート）を大切に守っていこうという願いを込めて作成しました。これでもっと住みよい学校になってもらいたいです。」という作者の思いです。西仙北中学校の校章に「イジメ0（ゼロ）」を組み合わせた「イジメNOプロジェクト」、「西仙北中イジメ0（ゼロ）プロジェクト」です。14日の全校朝集会で取組の確認がありました。



指導主事訪問(2A国語、1B数学)

12日は、南教育事務所仙北出張所山口指導主事、大仙市教育委員会小田長指導主事の2名の先生に訪問していただき、2年A組の国語科の授業、1年B組の数学科の授業を参観の上、ご指導を賜りました。

国語科は、「メディアと上手に付き合うために」、その特性を理解し、情報社会での各種のメディアの活用の仕方を考える授業でした。数学科は、等式の性質を用いて「1元1次方程式」を解けるようになることをねらいとした授業でした。



指導主事の先生方からは、ノート等に計算の過程や自分の考えがしっかり書かれていること、グループの話し合いがしっかりなされていることなどを褒めていただくとともに、その考え等を全体の場や公の場でしっかり話せるように伸ばしてほしいと話されました。



また、新学習指導要領についても解説していただきました。心に留め指導・支援に当たりたいと思います。なお、西仙北地域では幼保・小・中・高及び行政との連携を大事にしておりますが、本日も西仙北小学校及び西仙北高校の先生方が来校の上、生徒の授業の様子等を見て、ご助言等をいただきました。ありがとうございます。

【夏季休業7/23～8/23】

小・中・自治会 合同早朝クリーンアップを7月24日(月)にスクールバス路線を基調にした各地域ごとに行われます。ご協力、お願いいたします。(詳細プリント配布済み)